

新興企業と学生が交流

NOBUNAGA社「未来夏祭り」



スタートアップが手がけるドローンゲームで交流を深める参加者＝岐阜市神田町、NOBUNAGAキャピタルビレッジ

十六フィナンシャルグループ傘下の投資専門会社NOBUNAGAキャピタルビレッジは、地域のスタート

トアップ(新興企業)の事業紹介を兼ねたイベント「未来夏祭り」を岐阜市神田町の本社で開き、スタートアップや学生、地域の事業者らが交流を深めた。

スタートアップは3事業者が参加した。ドローン操縦士養成スクール運営などを手がけるROBOZ(ロボッツ、恵那市)は小型ドローンを使ってタイムレースを開催。大手自動車部品

メーカーの企業内起業家の加納健良さんは、開発した呼吸筋トレーニングを応用したゲームで、介護や医療分野向けの有用性をアピールした。

9月に起業予定のartkake(アトカケ)代表の夏目一輝さんは、アートのデザインを取り入れた生活用品など8点を紹介し、今後のビジネスプランを説明した。